

インクリメンタルフォーミング



成形工具を回転させながら金属薄板に押しつけ、逐次塑性加工することで得られる自由な形状

薄板金属に成型工具を逐次押しつけていくことで、目的の形状を得るダイレス塑性加工法です。金型が不要なので少量多品種生産が容易であるだけでなく、従来の絞り加工では困難な複雑な形状の金属製品を製作することができます。その結果、金型製作にかかっていた時間や工数が省け、コスト削減にも貢献。また、試作時や設計変更など、細かな形状の調整や修正にも柔軟に対応することが可能です。

特徴

- 金型製作が不要
- 少量多品種生産に対応
- 多面体(ひょうたん型)や曲面など、複雑な形状の製作が可能
- 最新設備を駆使した成型加工技術

技術仕様

対応可能素材

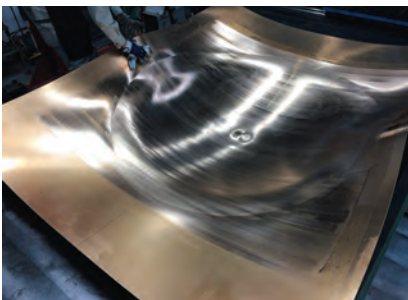
アルミニウム合金(～3.0mm)

銅合金(～3.0mm)

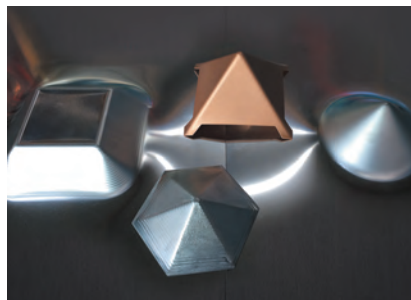
対応サイズ

～W2600 x L3000mm

(寸法を超える場合は要相談)



製作中の四季十楽のブロンズ門



様々な形状のインクリメンタル加工サンプル

事例



四季十楽
門扉(銅合金)



「Shades of Michelangelo」by 桑沢デザイン研究所×菊川工業
椅子(アルミ)

©大松俊紀